

東京藝術大学 博士後期課程

宇津木安来

Annla Utsugi

第二回 日本舞踊リサイタル

日時・会場

2017年2月6日(月)

開場 18:30 開演 19:00

於 東京藝術大学奏楽堂

*入場無料

公演内容

実技発表

長唄 娘道成寺

研究報告

日本舞踊における

「体幹部」の技法分析

～モーションキャプチャーを用いて～

Nihonbuyô:

Japanese Traditional

Dance Recital by

Annla Utsugi

—

6th February 2017

Open 6:30 p.m.

Start 7:00 p.m.

—

Sogakudo Concert Hall

in Tokyo University

of the Arts

of the Arts

* Admission Free

Photo by Taichi Gondara



長唄 娘道成寺

助演

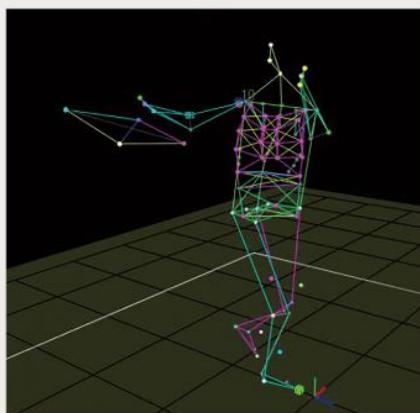
唄 今藤龍之右、杵屋勝四寿、杵屋正則

三味線 杵屋勝十郎、松永直矢、東音山内美穂

お囃子 打物:藤舎呂鳳、望月左太寿郎、梅屋喜三郎、望月左喜十郎、
住田福十郎、山口晃太郎、笛:藤舎推峰

日本舞踊における「体幹部」の技法分析

～モーションキャプチャーを用いて～



研究内容

これまで日本舞踊では、「手足頭」の動きから構成される「ふり」の技法が研究・伝承の中心となってきた。これに対し、本研究ではこれまで注目されてこなかった「体幹部」の技法を日本舞踊の基盤となる重要な技法として捉え、その具体的な運動構造を明らかにすることを目的としている。本報告では、昨年につき、博士課程二年目の研究成果の経過報告を、実技を交えつつ行う。

研究協力:ナックイメージテクノロジー、運動科学総合研究所

プロフィール

宇津木安来 (うつきあんら)

平成2年生まれ。11歳より日本舞踊を始め、

宗家藤間流 藤間洋子師に師事。

16歳で藤間勤洋舞の名を許され、

19歳で宗家藤間流師範修得。

平成20年、東京藝術大学音楽学部

邦楽科日本舞踊専攻に入学。

同大学大学院音楽研究科邦楽専攻

修士課程、研究員を経て、現在、

博士課程2年に在籍中。

運動科学総合研究所芸術研究員。

博士課程の研究テーマは、

〈日本舞踊における「体幹部」の技法分析

～モーションキャプチャーを用いて～

日時・会場

2017年2月6日(月)

開場 18:30 開演 19:00

於 東京藝術大学奏楽堂

※ 入場無料

〒110-8714

東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学音楽学部敷地内 奏楽堂

JR上野駅(公園口)より徒歩10分

地下鉄千代田線 根津駅より徒歩10分

地下鉄日比谷線・銀座線 上野駅より徒歩15分

京成電鉄 上野駅より徒歩15分

※ 駐車場はございませんので、
お車でのご来場はご遠慮ください。

東京藝術大学博士後期課程 宇津木安来 第二回 日本舞踊リサイタル

Nihonbuyô: Japanese Traditional

Dance Recital by Annla Utsugi

6th February 2017

Open 6:30 p.m./Start 7:00 p.m.

Sogakudo Concert Hall

in Tokyo University of the Arts

※ Admission Free



お問い合わせ

メール geidai.nichibu@gmail.com

電話 050-5317-7309

